MIYAGI

ミヤギサトシショー

「純愛伝」

構成/出演●宮城　聰
作　　●小林恭二

小林恭二▼'84年「電話男」で海燕新人賞受賞。'85年「小説伝」は芥川賞候補作となり、その壮大なスケールと鋭い諷刺眼が新しい世代の圧倒的な支持をうける。'87年初の長編小説「ゼウスガーデン衰亡史」は、第一回三島由紀夫賞候補作となり、文壇良識派の支持を集め若手作家No.1の地位を固めた。

妻が家を出ていった。「電話男になります」という、要領を得ない置手紙を残して。私は妻のアパートを訪ねる。電話機が1つだけの部屋。日かな受話器の

むこうの、不特定多数と話しつづける妻。電話男という仕事。これは都市の救世軍か？ 芽生える妻への愛。いや増す妻への純愛。そしてポツ然と起こる

電話男排斥運動。マスコミ陣の大包囲によりアパートに監禁された妻と私の「愛の嵐」/ さあどうなる/ のしかかる数奇な運命。思いもよらないドンデン

返し。驚天動地のクライマックス/ 純愛は、純愛はいづこへ?! 何気ない私の日常にふりかかった、これは聖なるアパッショナータ/

宮城聰（みやぎ・さとし）▼スピリチュアル・パフォーマー、演出家。1959年東京神田生れ。教育大学付属駒場高校卒、東京大学美学科中退。'86年9月"迷宮生活"(作：小林恭二)で、ソロ・パフォーマンス「ミヤギサトシショー」を開始、忽ち「確固たる"語り"の技術の上に舞踊的要素の加味された新しい"道化云"の誕生」と注目を集める。その後も小林作品をたて続けに上演、なかでも「小説伝」は絶賛を浴び、バルテノン多摩フェスティバル'88で最優秀賞を受賞する。同年6月、坂田明氏との共作で楽劇「菊燈台」(原作：滝沢龍彦)を発表。同年10月シアトルで上演された「純愛伝」では圧倒的なパワーとゆるぎない方法論で極めて高い完成度を示し各界クリエイターからも絶賛を浴びる。'89年の「ノーライフキング」(作：いいとうせいこう)では一転してバルコスペース3の空間にファジーな場を展開し、新生面を拓いた他、幾つかの演劇公演に客演し、好評を博した。本年は全ヨーロッパでベストセラーとなったP・ジュースキント『香水』の劇化に続いて、「純愛伝」の再演に取組み、パフォーミングアートの最前線を疾走し続けている。

SATOSHI

◆**11/2 FRI 6:00pm** 5:30開場
神戸学院大学メモリアルホール
入場無料（入場整理券をお申し込み下さい）　問合せ▶☎078・974・1551 神戸学院大学グリーンフェスティバル係

◆AI・HALL自主企画Vol.24
11/4 SUN 3:00pm 2:30開場
AI・HALL（JR伊丹駅前）
前売り▶¥2,800（整理番号付自由席券）　当日▶¥3,000
問合せ▶☎0727・82・2000 AI・HALL　☎06・315・6159 ヴィレッヂ

音楽●山貫憲彦
照明デザイン●坂元理人
舞台監督●鶴山欣也
小道具●山田歩
企画●バグ・コーポレーション
主催●伊丹市/神戸学院大学
美術●佐伯真奈美
照明操作●大迫浩二
音響●前田康徳
プロデュース●山口哲一
ヴィレッヂ

前売取扱：チケットぴあ ☎06・363・9999
チケットセゾン ☎06・308・9999
AI・HALL ☎0727・82・2000
伊丹市立文化会館 ☎0727・82・8261

SHOW